

猛毒のあるヒョウモンダコにご注意ください

このタコは、主に日本からオーストラリアの熱帯・亜熱帯域に生息する小型の美しいタコですが、平成24年6月に松江市沿岸で確認されて以降、県内各地で確認されています。

このタコの唾液には神経毒であるテトロドトキシンが含まれており、咬まれると神経麻痺、呼吸困難を起こす大変危険な生物です。

もし、見かけた場合には、絶対に素手で触らないようにしてください。

また、下記まで情報提供（見つけた日時、場所等）をお願いします。

◇ヒョウモンダコとは

- ・日本からオーストラリアにかけての西部太平洋熱帯域・亜熱帯域に分布し、浅い海の岩礁、サンゴ礁、砂と小石混じりの海底に生息
- ・大きさは10cm程度の小型のタコで、刺激を受けると青い斑紋が現れることが特徴
- ・唾液には、フグ毒として有名な猛毒のテトロドトキシンが含まれる
- ・国内では平成23年に愛媛県で男性が咬まれ入院した事例のほか、海外では死亡事例がある
- ・日本海側は福井県以南、太平洋側は千葉県以南で分布が確認されており、近年その生息域が北上している模様
- ・県内でも、平成24年6月の確認以降、各地から確認の報告あり



ヒョウモンダコ（平成24年に松江市沿岸で発見されたもの）

[連絡先]

島根県 農林水産部 沿岸漁業振興課

沿岸漁業振興グループ

木下

TEL0852-22-5323 FAX0852-22-6048